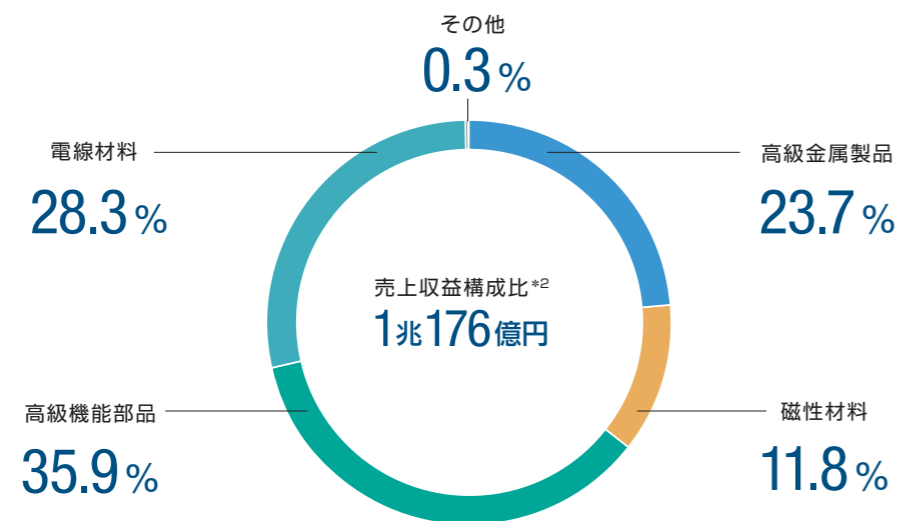


日立金属グループの概要
数字で見る日立金属

日立金属グループの2015年度の業績は、売上収益は約1兆円となり、そのうち海外での売上比率が56%となりました。

売上収益 1兆176億円	調整後営業利益*1 761億円	調整後営業利益率 7.5%
ROE 14.4%	ROA 9.1%	海外売上比率 56%
EBIT 991億円	研究開発費 191億円	従業員数 29,157人



*1 調整後営業利益：売上収益－売上原価－販売費及び一般管理費
*2 セグメント別売上収益構成比は、外部顧客への売上収益を元に算定しています。

日立金属グループの概要
事業ポートフォリオ

日立金属グループは、高機能材料開発をベースに、産業インフラ関連、自動車関連、エレクトロニクス関連をターゲット分野としてさまざまな材料・製品を提供しています。



※イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

日立金属グループの概要
主要な製品用途

日立金属グループの製品は、産業インフラ、自動車、エレクトロニクスなどの分野で活用されており、社会インフラを足元から支えています。近年では航空機・エネルギーや医療機器などの分野への用途も拡大しており、眼下には無限の可能性が広がっています。

自動車分野

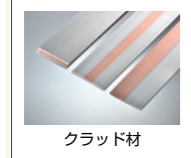
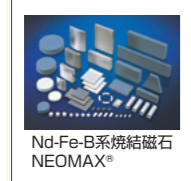
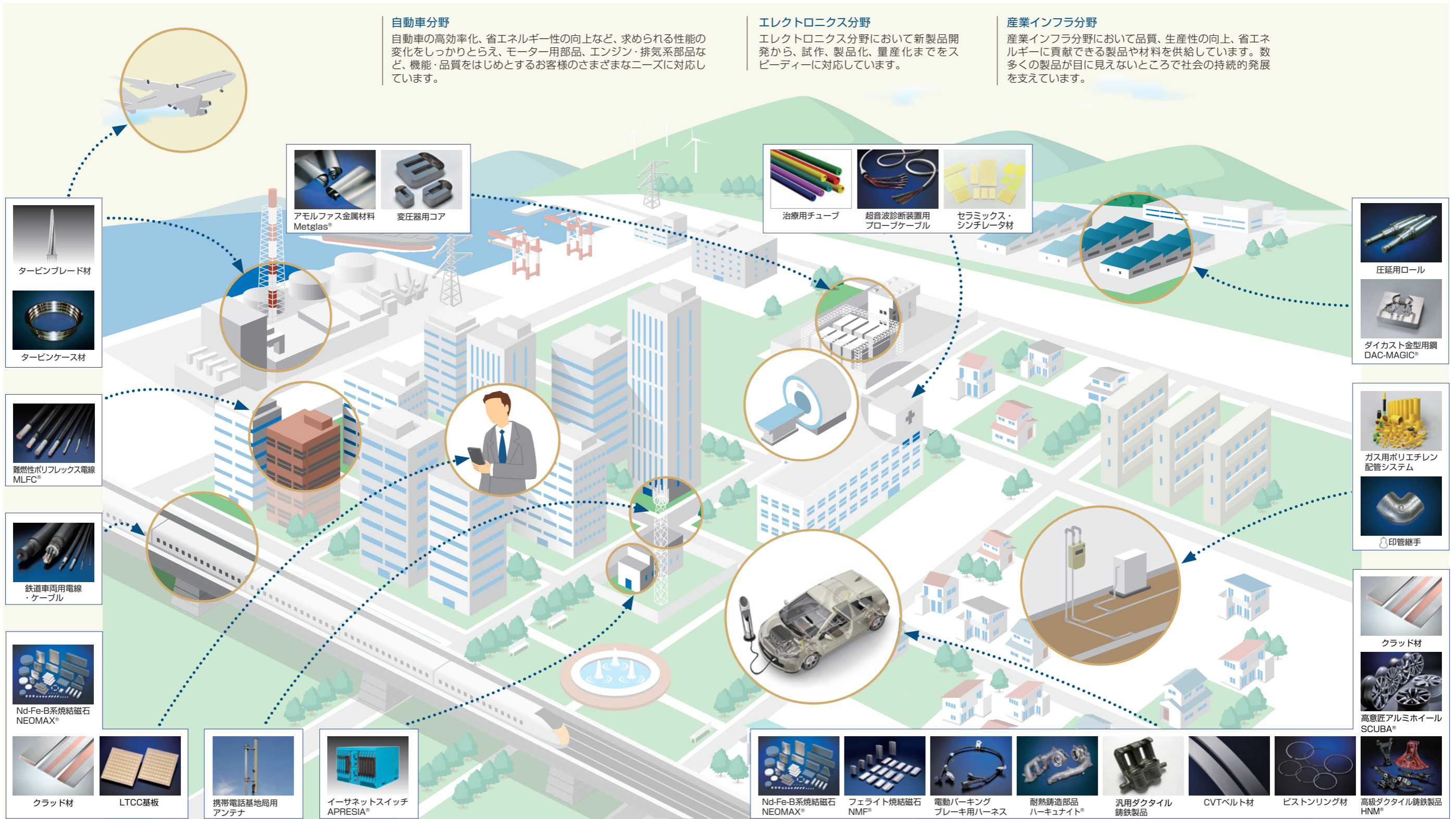
自動車の高効率化、省エネルギー性の向上など、求められる性能の変化をしっかりとらえ、モーター用部品、エンジン・排気系部品など、機能・品質をはじめとするお客様のさまざまなニーズに対応しています。

エレクトロニクス分野

エレクトロニクス分野において新製品開発から、試作、製品化、量産化までをスピーディーに対応しています。

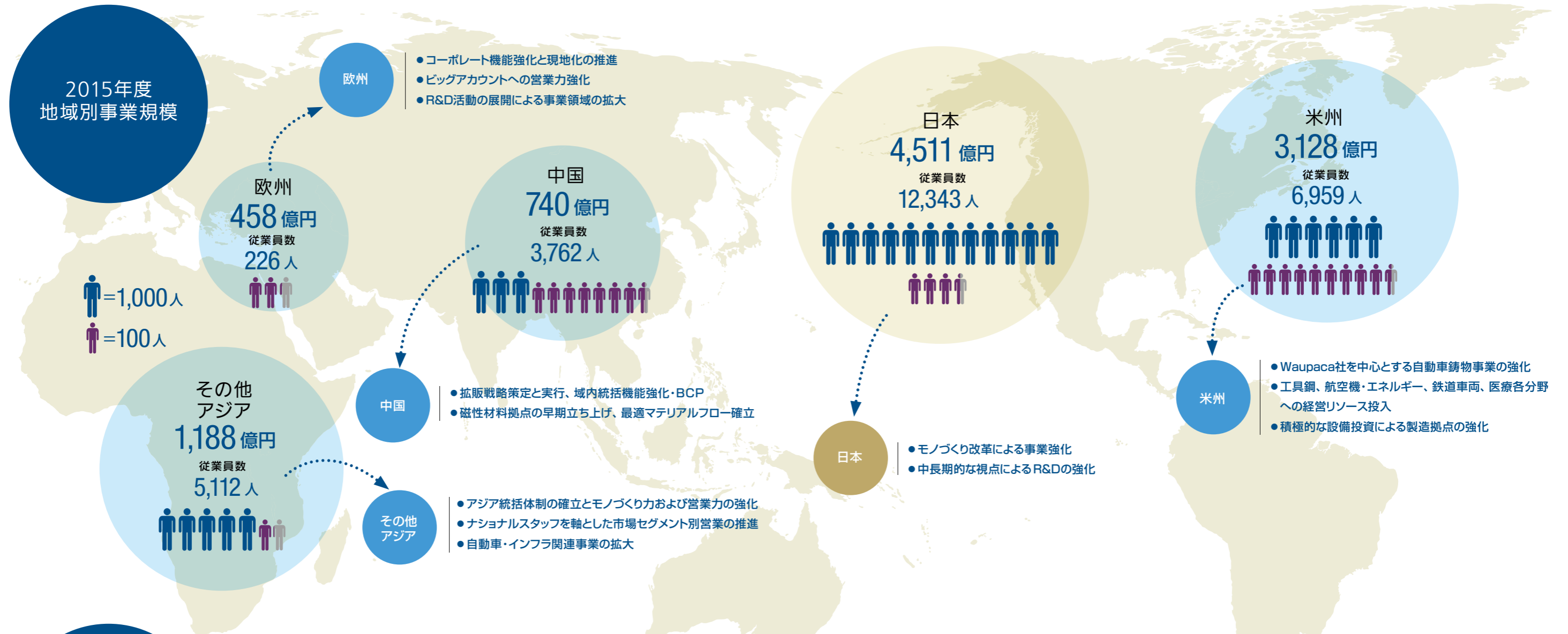
産業インフラ分野

産業インフラ分野において品質、生産性の向上、省エネルギーに貢献できる製品や材料を供給しています。数多くの製品が目に見えないところで社会の持続的発展を支えています。

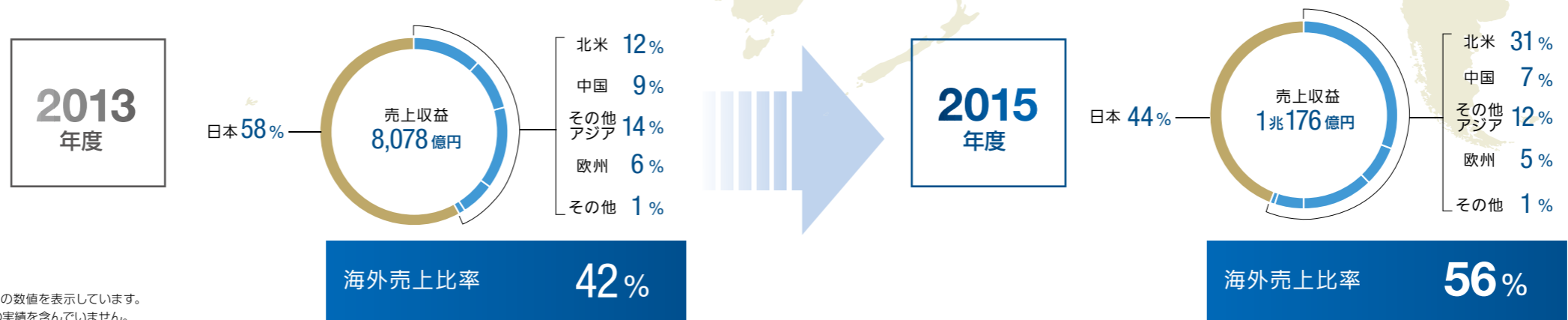


日立金属グループの概要
グローバル展開

日立金属グループは、日本、北米、アジア、中国、欧州等で事業を展開しています。各国・地域における固有の環境規制強化やインフラ整備などをビジネスチャンスととらえ、グローバル市場で通用する製品を提供することにより、それぞれの市場での成長をめざしています。海外売上比率も56%となり、グローバルな高性能材料会社としてのポジションを確立しています。



2013年度と
2015年度の比較
(地域別売上構成)



※ 地域別売上とその構成比は、地域間の取引を相殺消去後の数値を表示しています。
 ※ 2013年度の売上収益には、合併前の日立電線株式会社の実績を含んでいません。